

令和7年1月27日

全体朝礼 挨拶（日々の挨拶）

皆さん、おはようございます。

今年に入ってから今日は、もう1月の最終週となりました。時が経つのも早いもので、これから先も「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る。」と、言われるように早く感じられる期間となります。

学校行事も在校生を育てつつ、卒業と次年度の入学生受入のため、皆さんも経験した入試が始まります。その始めに来週2月4日には、推薦入学者選抜が行われます。

また、3年生は明日から学年末考査で、2月からは自宅学習期間に入ります。

2年生も明日からは、企業に出向いて職業体験を行う、インターンシップが4日間、始まります。

いずれも、社会に巣立つ前の「基礎知識と基礎技術の修得確認」であったり、「社会や企業で、どの様に自分の役割を果たすことができるかを知る。」であったり、皆さんが行うことには全て意味があるものです。

確認や体験をとおして、「自分の成長」と「進路実現」に役立てていただけたらと思います。

さて、**社会の基礎・基本**で大切なことは何かと問われると、多くの起業家は、まず一番目に『「挨拶」です。』と、答える人が多くいます。東京の大学を出た人だけが社長をしていて言っているわけではなく、修学旅行に行った2年生も知ってのとおり、お坊さんをしている社長さんも「挨拶」の大切さを語っていました。

よく、「隼人工業生は挨拶がいいですね」と言われますが、「おはようございます」「こんにちは」といった、言葉だけが一人歩きしている訳ではありません。

私は、南半球の国で2年間、サッカーの指導をしていましたが、いつも挨拶を交わしていました。英語の「Good morning」だけでなく、共通語の「gupela tru」、部族語の「matamolaila」などで、挨拶は世界のどの国でも言葉を換えて行われる習慣です。

世界で、各国で、一つの島で、一人で生活していたら、交わすこともない挨拶ですが、挨拶を交わすことで伝えたいことは、皆さん、何だと思えますか。

私が考えるに、伝えたいことは「心」です。相手に対しての「敬う心」「感謝の心」ではないでしょうか。

逆に「挨拶をしない」と言うことは、どう捉えられることとなるのでしょうか。

これからの社会が変化していく中であっても、人間社会で古くから変わらない敬意や感謝を伝えあう「日々の心」を、大切にできる人物へと成長してくれることを期待して、本日の挨拶といたします。